

# ダイワSociety 5.0関連株ファンド (資産成長型) (予想分配金提示型) (愛称：スマートテクノロジー)

&lt;2744&gt; &lt;2745&gt;

## (資産成長型)追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：スマテク資産

## (予想分配金提示型)追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：スマテク予想

## (資産成長型)

第7期 2024年1月19日決算

## (予想分配金提示型)

第37期 2023年8月21日決算 第40期 2023年11月20日決算

第38期 2023年9月19日決算 第41期 2023年12月19日決算

第39期 2023年10月19日決算 第42期 2024年1月19日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## (資産成長型)

第7期末	基準価額	12,732円
	純資産総額	42,406百万円
第7期	騰落率	3.3%
	分配金	0円

## (予想分配金提示型)

第42期末	基準価額	9,939円
	純資産総額	23,901百万円
第37期～第42期	騰落率	3.3%
	分配金合計	0円

■「資産成長型」の信託期間終了日を2025年7月18日から2050年7月19日に変更しました。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇SKU0274420240119◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択

## 投資ユニバースの概要

Society 5.0 (※) に合致する投資信託証券を選定し、投資ユニバースとします。

※Society 5.0とは、Society 1.0 (狩猟社会)、Society 2.0 (農耕社会)、Society 3.0 (工業社会)、Society 4.0 (情報社会) に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。

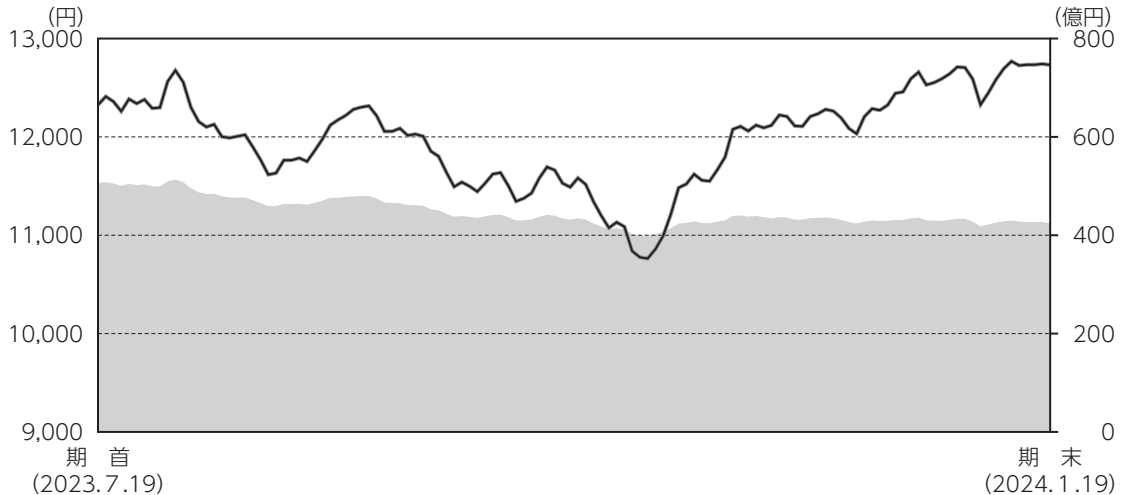
コ ン セ プ ト	投 資 信 託 証 券	実質的な投資対象
支える技術 (デジタル基盤技術等)	グローバルIoT関連株ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) (以下、「グローバルIoT関連株ファンド (為替ヘッジなし)」という場合があります。)	世界の株式
	テクノロジー株式ファンド (適格機関投資家専用) (以下、「テクノロジー株式ファンド」という場合があります。)	米国の株式
	三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし) (FOFs用) (適格機関投資家限定) (以下、「三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX AI&ビッグデータ ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX AI&ビッグデータ ETF」という場合があります。)	世界の株式
健康的な暮らし (医療等)	フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) (以下、「フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト (為替ヘッジなし)」という場合があります。)	世界の株式
	Nikkoam FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド (適格機関投資家向け) (以下、「Nikkoam グローバル全生物ゲノム株式ファンド」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX 長寿・高齢社会 ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX 長寿・高齢社会 ETF」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX eドック (遠隔医療&デジタルヘルス) ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX eドック (遠隔医療&デジタルヘルス) ETF」という場合があります。)	世界の株式
便利な暮らし (省力化等)	アクサIM・グローバル・フィンテック関連株株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) (以下、「アクサIM・グローバル・フィンテック関連株株式ファンド (為替ヘッジなし)」という場合があります。)	世界の株式
	アクサIM・グローバル・ロボット関連株株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) (以下、「アクサIM・グローバル・ロボット関連株株式ファンド (為替ヘッジなし)」という場合があります。)	世界の株式
	SMDAM・グローバルEV関連株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) (以下、「SMDAM・グローバルEV関連株ファンド」という場合があります。)	世界の株式
豊かな暮らし (消費・サービス等)	SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) (以下、「SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド」という場合があります。)	世界の株式
	Nikkoam FOFs用グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド (適格機関投資家向け) (以下、「Nikkoam グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX eコマース ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX eコマース ETF」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX ヒーローズ (ゲーム&eスポーツ) ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX ヒーローズ (ゲーム&eスポーツ) ETF」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX クラウド・コンピューティング ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX クラウド・コンピューティング ETF」という場合があります。)	世界の株式
	グローバルX ソーシャルメディア ETF (米国籍、米ドル建) (以下、「グローバルX ソーシャルメディア ETF」という場合があります。)	世界の株式

資産成長型



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：12,325円

期末：12,732円（分配金0円）

騰落率：3.3%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資した結果、組入ファンドの騰落率と組入状況から、「三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）」、「テクノロジー株式ファンド」、「グローバルXクラウド・コンピューティングETF」などの基準価額の上昇がプラス要因となったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.7.20~2024.1.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,989円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.387)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	68	0.567	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

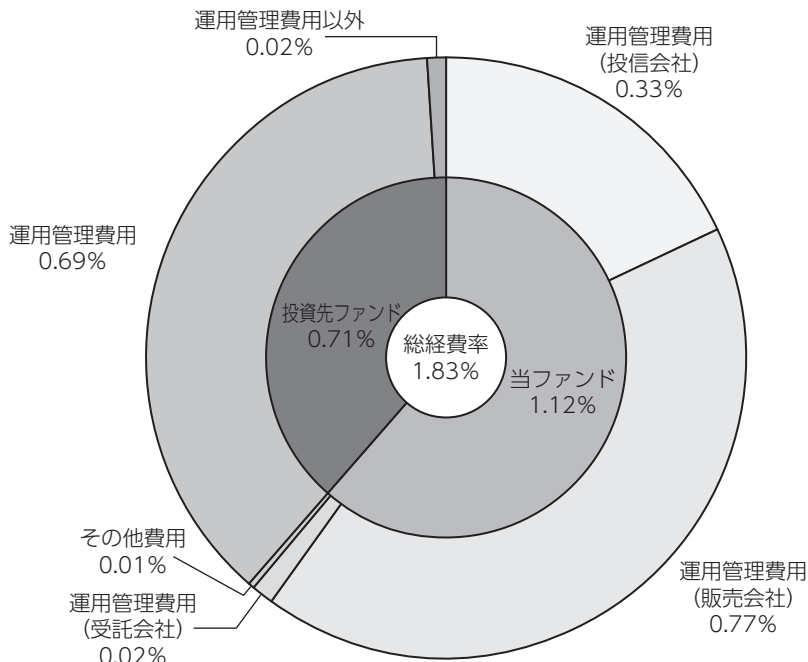
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①当ファンドの費用の比率	1.12%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



		2020年7月20日 設定	2021年1月19日 決算日	2022年1月19日 決算日	2023年1月19日 決算日	2024年1月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,581	12,154	10,133	12,732
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	25.8	△3.4	△16.6	25.6
純資産総額	(百万円)	14,658	67,410	80,145	49,429	42,406

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

(2023.7.20~2024.1.19)

### ■グローバル株式市況

中国の株式市況は下落しましたが、欧米や日本の株式市況は上昇しました。

欧米の株式市況は、当作成期首より、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、米国政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、下落しました。2023年10月に入ると、米国では、つなぎ予算の成立により政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。欧州では、E C B（欧州中央銀行）の高官の利上げ打ち止め発言などがあったものの、中東情勢の悪化や軟調な欧州経済指標などが相場の重しとなり、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことやF R B 議長の発言、また、E C Bの連続での利上げ見送りなどを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感されて、欧米株式市況は急上昇し、当作成期末を迎えました。

日本株式市況は、当作成期首より、2023年8月半ばに発表された2023年4－6月期GDP（国内総生産）成長率が予想を上回る高い伸びとなったことなどが好感され、上昇しました。9月下旬以降は、米国における長期金利の上昇や景気の先行き不透明感、パレスチナ情勢の悪化などが懸念されて反落しました。11月以降は、欧米におけるインフレ率の鈍化や金利の低下を受けて海外株式市場が大幅に上昇したこと、決算発表で好調な企業業績が確認されたこと、株主還元拡充の発表が相次いだことなどが好感され、上昇して当作成期末を迎えました。

中国株式市況は、当作成期首より、政府の景気刺激策への期待などから上昇しましたが、2023年8月以降は、中国不動産市場の低迷による信用不安や景気減速懸念などから、下落が続きました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年1月に入ると、市場予想を上回る経済指標の発表やF R B（米国連邦準備制度理事会）高官の利下げに対する発言などから、米ドルは対円で上昇しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび組入投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行います。

## ポートフォリオについて

(2023.7.20~2024.1.19)

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行いました。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し投資対象の投資信託証券としました。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定しました。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定しました。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行いました。



■マザーファンドにおける組入ファンドの当作成期中の騰落率および組入比率

組入ファンド名	騰落率	組入比率	
		当作成期首	当作成期末
	%	%	%
グローバルIoT関連株ファンド（為替ヘッジなし）	6.3	3.6	2.5
テクノロジー株式ファンド	18.1	6.2	9.7
三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	26.0	10.5	10.3
グローバルX AI&ビッグデータETF	11.3	5.8	7.7
フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト（為替ヘッジなし）	1.9	7.3	2.4
Nikkoam グローバル全生物ゲノム株式ファンド	△13.3	8.4	7.6
グローバルX 長寿・高齢社会ETF	8.5	1.0	4.4
グローバルX eドック（遠隔医療&デジタルヘルス）ETF	△16.5	6.5	2.5
アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	9.3	8.9	7.6
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.6	8.6	8.4
SMDAM・グローバルEV関連株ファンド	△14.1	8.6	6.6
SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド	0.9	2.5	2.2
Nikkoam グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド	1.0	3.0	2.3
グローバルX eコマースETF	8.9	3.1	7.5
グローバルX ヒーローズ（ゲーム&eスポーツ）ETF	△3.7	5.2	0.8
グローバルX クラウド・コンピューティングETF	10.8	8.2	8.9
グローバルX ソーシャルメディアETF	4.2	1.2	7.1

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期 2023年7月20日 ～2024年1月19日
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,074

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行います。



## お知らせ

### ■信託期間の延長について

信託期間終了日を2025年7月18日から2050年7月19日に変更しました。

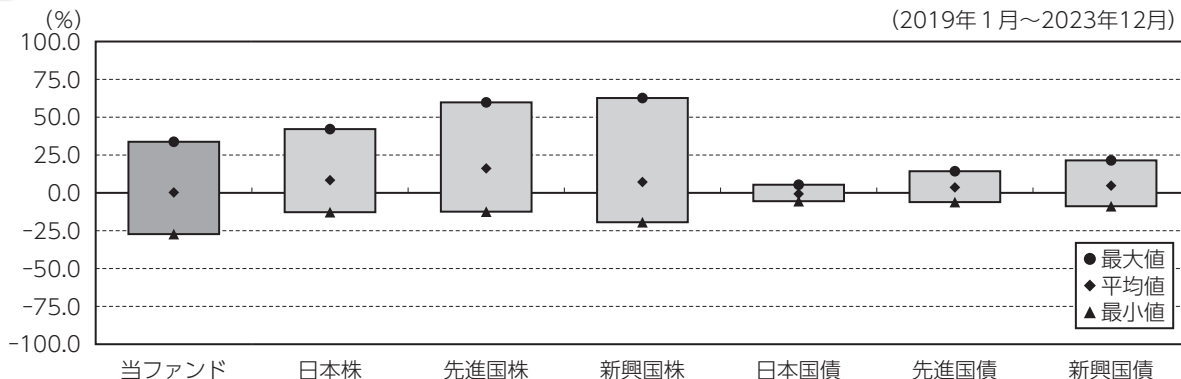


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年7月20日～2050年7月19日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	Society 5.0関連株マザーファンドの受益証券
	Society 5.0関連株マザーファンド	Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。</p> <p>②投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資ユニバースとします。</p> <p>ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。</p> <p>ハ. 投資ユニバースの中から、競争優位性等を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。</p> <p>ニ. 投資ユニバース、各コンセプトへの投資配分、投資を行なう投資信託証券については、適宜見直しを行ないます。</p> <p>③投資信託証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.8	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	0.3	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△27.2	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



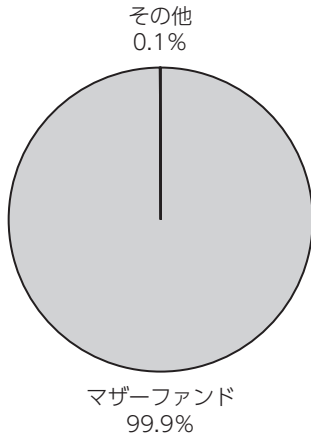
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

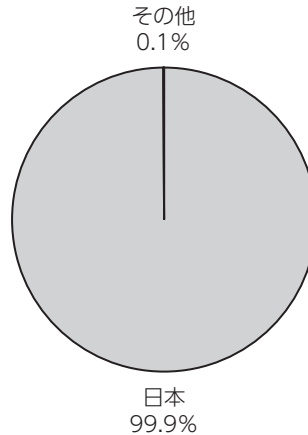
### 組入ファンド等

	比率
Society 5.0関連株マザーファンド	99.9%
その他	0.1%

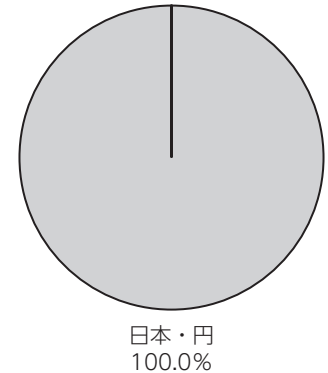
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	当期末
	2024年1月19日
純資産総額	42,406,946,857円
受益権総口数	33,308,592,326口
1万口当り基準価額	12,732円

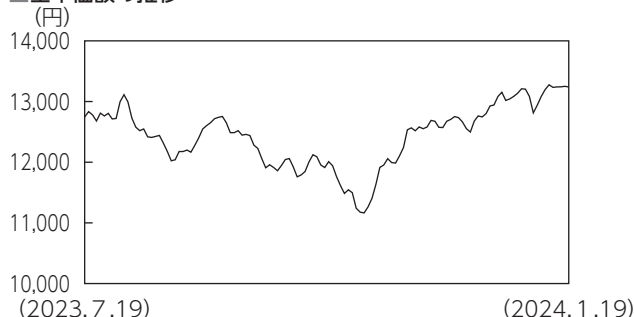
\* 当期中における追加設定元本額は154,314,305円、同解約元本額は7,889,147,742円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ Society 5.0関連株マザーファンド（作成対象期間 2023年7月20日～2024年1月19日）

#### ■ 基準価額の推移



#### ■ 1万口当りの費用の明細

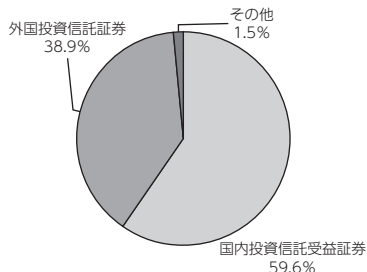
項目	金額
売買委託手数料	-円
有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)
合計	0

#### ■ 組入ファンド等

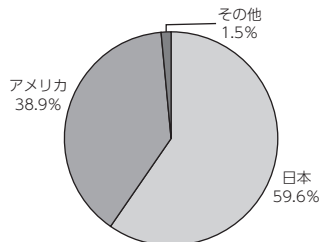
組入ファンド	比率
三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	10.3%
テクノロジー株式ファンド	9.7
グローバルX クラウド・コンピューティング ETF	8.9
アクサIM・グローバル・ロボット関連株ファンド（為替ヘッジなし）	8.4
グローバルX AI&ビッグデータ ETF	7.7
Nikkoam グローバル全生物ゲノム株式ファンド	7.6
アクサIM・グローバル・フィンテック関連株ファンド（為替ヘッジなし）	7.6
グローバルX eコマース ETF	7.5
グローバルX ソーシャルメディア ETF	7.1

組入ファンド	比率
SMDAM・グローバルEV関連株ファンド	6.6
グローバルX 長寿・高齢社会 ETF	4.4
グローバルX eドック（遠隔医療&デジタルヘルス）ETF	2.5
グローバルIoT関連株ファンド（為替ヘッジなし）	2.5
フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト（為替ヘッジなし）	2.4
Nikkoam グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド	2.3
SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド	2.2
グローバルX ヒーローズ（ゲーム&eスポーツ）ETF	0.8
その他	1.5

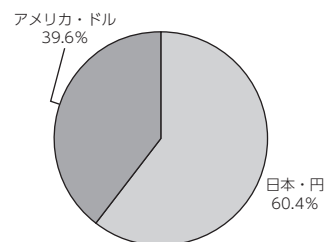
#### ■ 資産別配分



#### ■ 国別配分



#### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

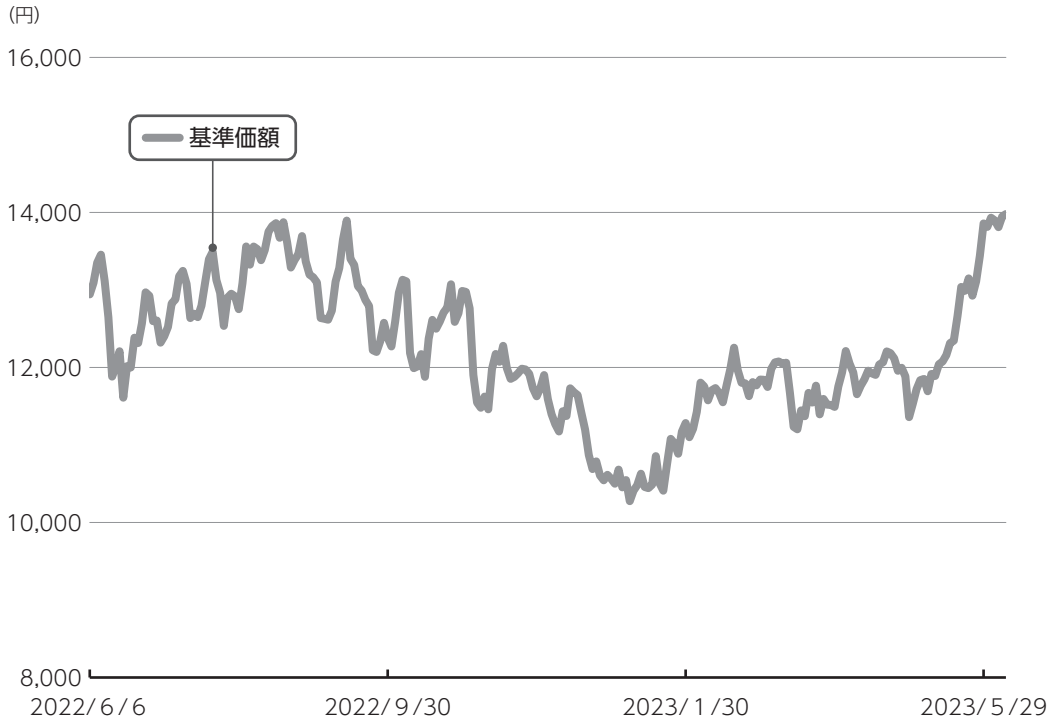
(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 組入ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

※以下のファンドは「Society 5.0関連株マザーファンド」の組入上位3ファンドです。

◆三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）（FOFs用）（適格機関投資家限定）  
 （作成対象期間 2022年6月7日～2023年6月6日）

### 基準価額等の推移





2022年6月7日～2023年6月6日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	103	0.847	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(101)	(0.824)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.061	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(7)	(0.061)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.011	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	(1)	(0.011)	
( 投 資 信 託 証 券 )	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.021	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	114	0.940	

期中の平均基準価額は、12,207円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

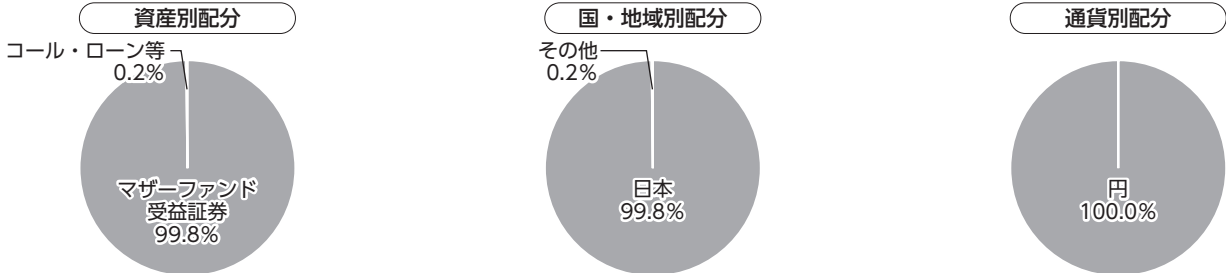
## 組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	第3期末 2023年6月6日
サイバーセキュリティ株式マザーファンド	99.8%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

## 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

※以下のファンドは三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）（FOF s用）（適格機関投資家限定）が組み入れているファンドです。

### ▶ サイバーセキュリティ株式マザーファンド

#### 基準価額の推移

2022年12月6日～2023年6月6日



#### 1万口当たりの費用明細

2022年12月7日～2023年6月6日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料	8	0.034
（株式）	(8)	(0.034)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
（株式）	(0)	(0.001)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(c) その他費用	2	0.007
（保管費用）	(2)	(0.007)
合計	10	0.042

期中の平均基準価額は、24,706円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

（組入銘柄数：38銘柄）

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	6.4
2	PALO ALTO NETWORKS INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.5
3	FORTINET INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.9
4	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	メディア・娯楽	4.7
5	CLOUDFLARE INC - CLASS A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.5
6	SERVICENOW INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.2
7	SALESFORCE INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9
8	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9
9	NVIDIA CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.8
10	DATADOG INC - CLASS A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

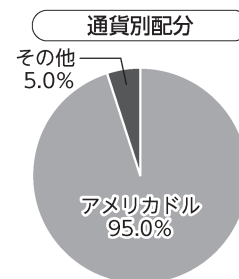
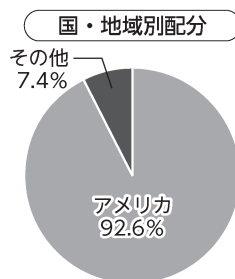
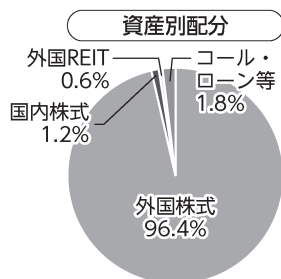
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※REITを含めて表示しています。

※業種は、GICS（世界産業分類基準）によるものです。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

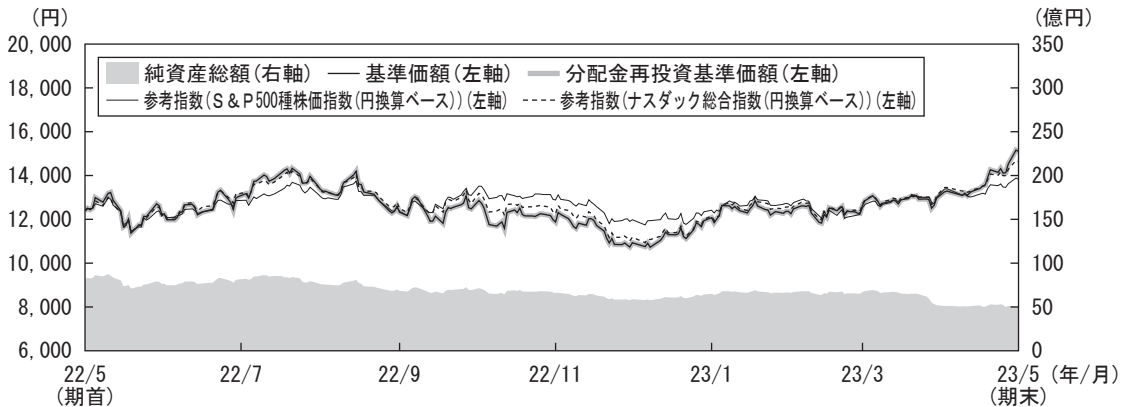
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

◆テクノロジー株式ファンド（適格機関投資家専用）

（作成対象期間 2022年5月31日～2023年5月30日）

◆基準価額等の推移について（2022年5月31日～2023年5月30日）



第3期首：12,390円

第3期末：15,104円

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+21.90%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指数は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年5月31日～2023年5月30日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	105円 (102)	0.848% (0.825)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	( 0)	(0.001)	
(受託会社)	( 3)	(0.022)	
売買委託手数料 (株式)	3 ( 3)	0.023 (0.023)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	1 ( 0)	0.005 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
(その他)	( 0)	(0.001)	
合計	109	0.877	

期中の平均基準価額は12.424円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 株式には投資信託証券を含みます。

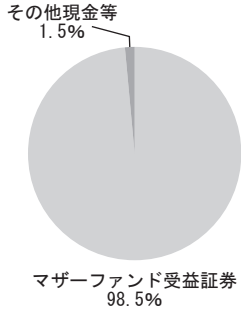
◆本ファンドの組入資産の内容（2023年5月30日現在）

○組入れファンド

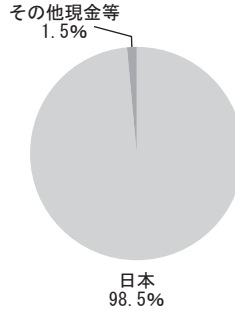
（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	比率
netWINテクノロジー株式マザーファンド	98.5%

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

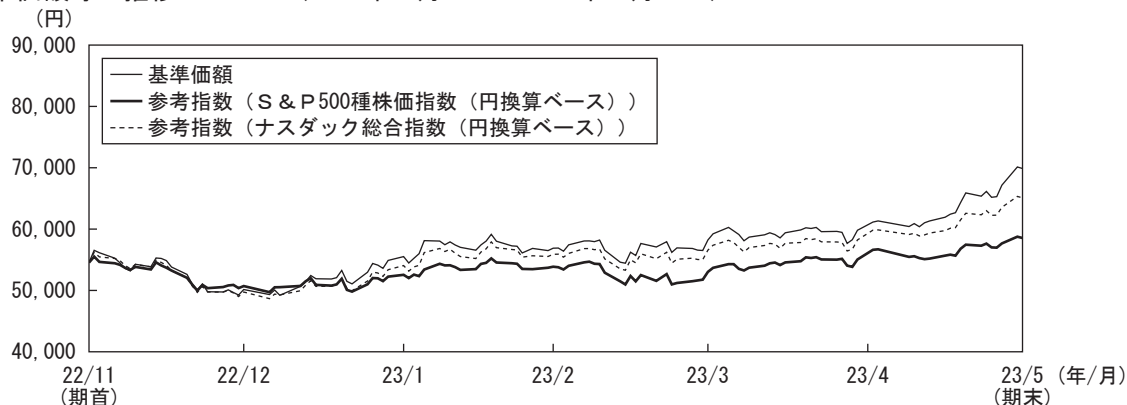


（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

※以下のファンドはテクノロジー株式ファンド（適格機関投資家専用）が組み入れているファンドです。

### ◆netWINテクノロジー株式マザーファンド

#### ◆基準価額等の推移について（2022年12月1日～2023年5月30日）



(注1) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 参考指数は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

#### ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年12月1日～2023年5月30日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)	0.012% (0.012)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.001 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	8	0.013	

期中の平均基準価額は55,847円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 株式には投資信託証券を含みます。



◆組入上位ファンドの概要

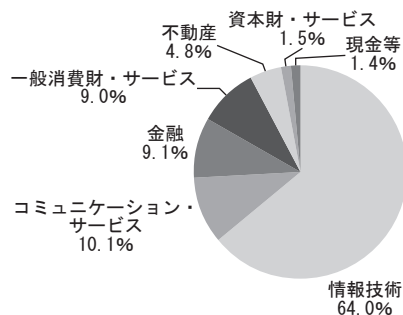
netWINテクノロジー株式マザーファンド（2023年5月30日現在）

○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：36銘柄）

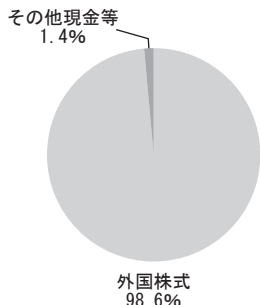
	銘柄	業種*	市場	比率
1	マイクロソフト	情報技術	NASDAQ	9.5%
2	アルファベット	コミュニケーション・サービス	NASDAQ	9.1%
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	NASDAQ	7.8%
4	エヌビディア	情報技術	NASDAQ	5.9%
5	アップル	情報技術	NASDAQ	4.7%
6	マーベル・テクノロジー	情報技術	NASDAQ	4.3%
7	ビザ	金融	NYSE	3.3%
8	KLAコーポレーション	情報技術	NASDAQ	3.2%
9	アドビ	情報技術	NASDAQ	3.2%
10	エクイニクス	不動産	NASDAQ	2.9%

○業種\*別配分

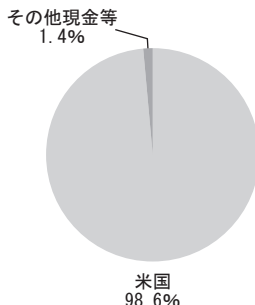


\*業種は、Global Industry Classification Standard (G I C S<sup>®</sup>)（世界産業分類基準）のセクター分類を使用しています。

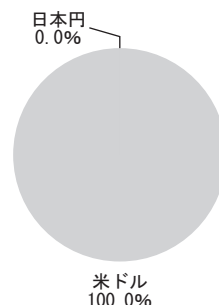
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）組入上位10銘柄、業種別配分、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

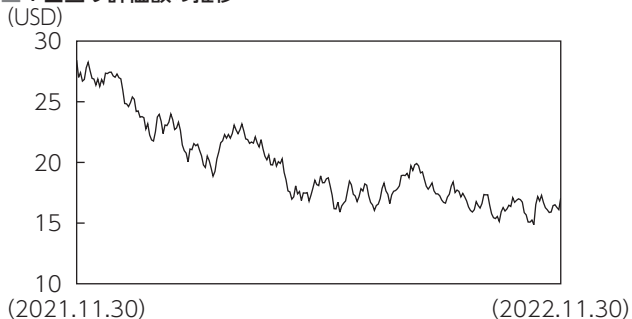
（注2）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆グローバルX クラウド・コンピューティング ETF（作成対象期間 2021年12月1日～2022年11月30日）

※直近で入手可能なFinancial Statements作成期間です。

■ 1口当り評価額の推移



(注) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

■ 1口当り費用の明細

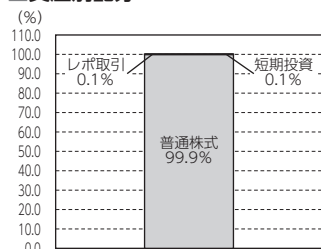
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■ 組入上位銘柄

銘柄名	比率
Coupa Software	4.8%
Shopify, Cl A	4.4
Five9	4.4
Workday, Cl A	4.4
Digital Realty Trust	4.3
SPS Commerce	4.3
Workiva, Cl A	4.2
Dropbox, Cl A	4.2
Akamai Technologies	4.2
Netflix	4.1
組入銘柄数（普通株式）	36銘柄

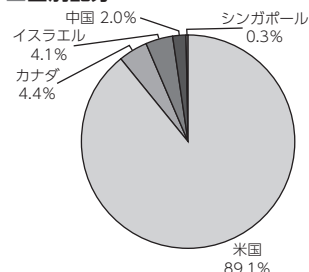
(注) 比率は株式投資部分に対する比率です。

■ 資産別配分



(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 国別配分



(注) 比率は株式投資部分に対する比率です。

■ 通貨別配分

当ファンドの通貨別比率のデータは取得できないため、記載しておりません。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分は、「グローバルX クラウド・コンピューティング ETF」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

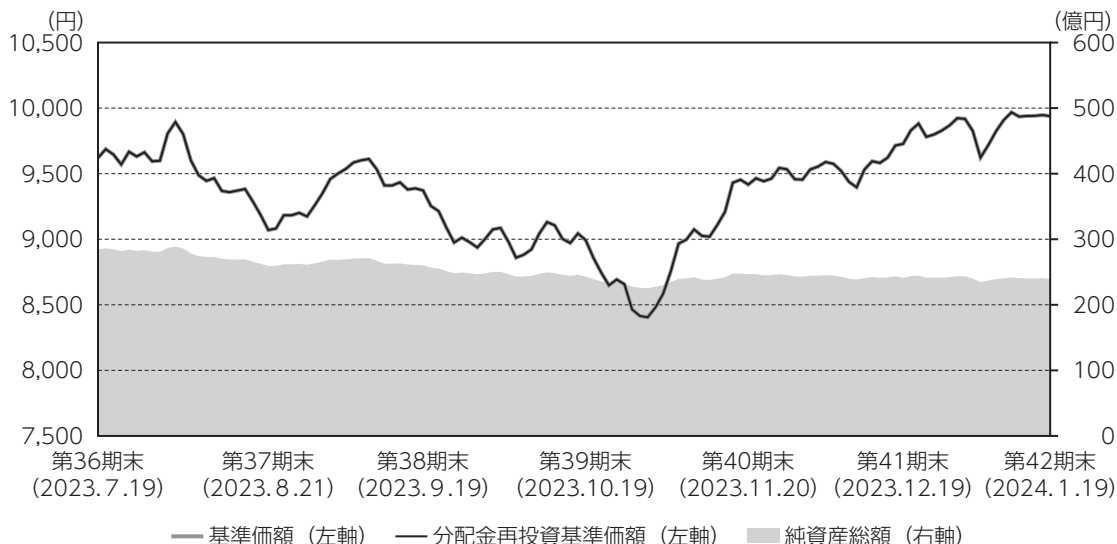
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

予想分配金提示型



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第37期首：9,621円

第42期末：9,939円（既払分配金0円）

騰落率：3.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資した結果、組入ファンドの騰落率と組入状況から、「三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）」、「テクノロジー株式ファンド」、「グローバルXクラウド・コンピューティングETF」などの基準価額の上昇がプラス要因となったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第37期～第42期 (2023.7.20～2024.1.19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.563%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,369円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.166)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.387)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.567	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

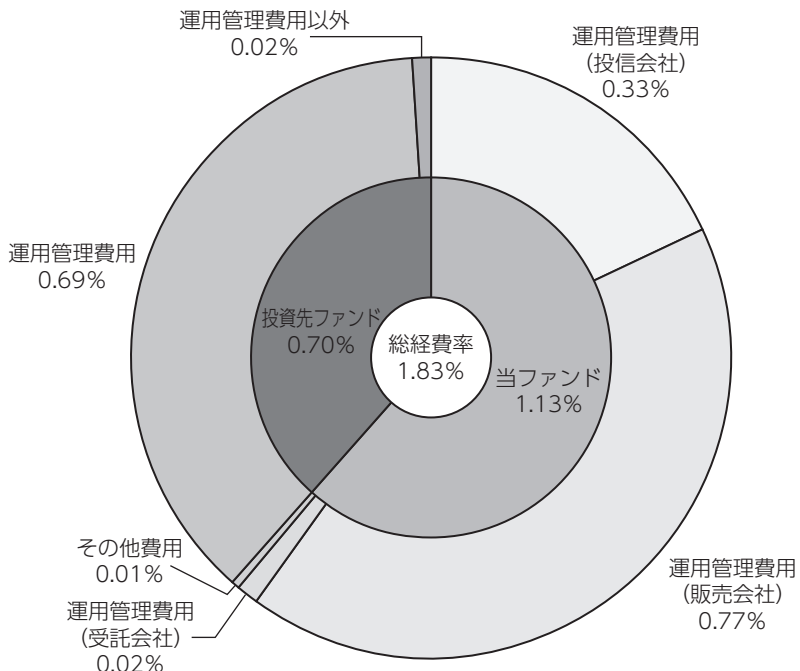
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

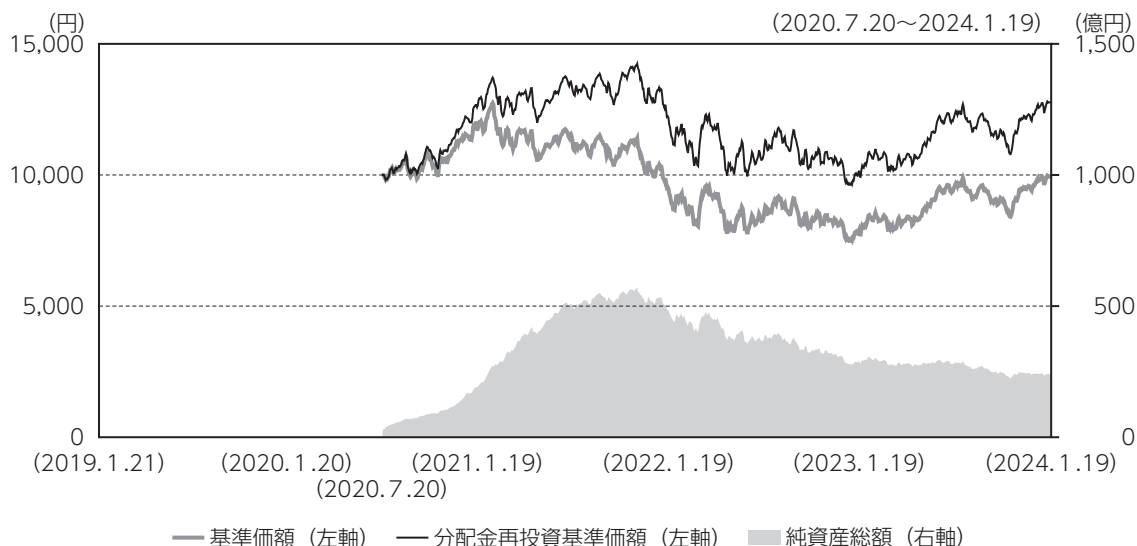
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



		2020年7月20日 設定	2021年1月19日 決算日	2022年1月19日 決算日	2023年1月19日 決算日	2024年1月19日 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,694	9,484	7,912	9,939
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	800	2,000	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	25.8	△3.2	△16.6	25.6
純資産総額	(百万円)	2,908	19,116	48,412	29,037	23,901

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

(2023.7.20~2024.1.19)

### ■グローバル株式市況

中国の株式市況は下落しましたが、欧米や日本の株式市況は上昇しました。

欧米の株式市況は、当作成期首より、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、米国政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、下落しました。2023年10月に入ると、米国では、つなぎ予算の成立により政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。欧州では、E C B（欧州中央銀行）の高官の利上げ打ち止め発言などがあったものの、中東情勢の悪化や軟調な欧州経済指標などが相場の重しとなり、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことやF R B 議長の発言、また、E C Bの連続での利上げ見送りなどを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感されて、欧米株式市況は急上昇し、当作成期末を迎えました。

日本株式市況は、当作成期首より、2023年8月半ばに発表された2023年4－6月期GDP（国内総生産）成長率が予想を上回る高い伸びとなったことなどが好感され、上昇しました。9月下旬以降は、米国における長期金利の上昇や景気の先行き不透明感、パレスチナ情勢の悪化などが懸念されて反落しました。11月以降は、欧米におけるインフレ率の鈍化や金利の低下を受けて海外株式市場が大幅に上昇したこと、決算発表で好調な企業業績が確認されたこと、株主還元拡充の発表が相次いだことなどが好感され、上昇して当作成期末を迎えました。

中国株式市況は、当作成期首より、政府の景気刺激策への期待などから上昇しましたが、2023年8月以降は、中国不動産市場の低迷による信用不安や景気減速懸念などから、下落が続きました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年1月に入ると、市場予想を上回る経済指標の発表やF R B（米国連邦準備制度理事会）高官の利下げに対する発言などから、米ドルは対円で上昇しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して組入投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび組入投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行います。

## ポートフォリオについて

(2023.7.20~2024.1.19)

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行いました。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し投資対象の投資信託証券としました。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定しました。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定しました。
- ニ. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行いました。

■マザーファンドにおける組入ファンドの当作成期中の騰落率および組入比率

組入ファンド名	騰落率	組入比率	
		当作成期首	当作成期末
	%	%	%
グローバルIoT関連株ファンド（為替ヘッジなし）	6.3	3.6	2.5
テクノロジー株式ファンド	18.1	6.2	9.7
三菱UFJ国際サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	26.0	10.5	10.3
グローバルX AI&ビッグデータETF	11.3	5.8	7.7
フィデリティ・世界医療機器関連株ファンド・セレクト（為替ヘッジなし）	1.9	7.3	2.4
Nikkoam グローバル全生物ゲノム株式ファンド	△13.3	8.4	7.6
グローバルX 長寿・高齢社会ETF	8.5	1.0	4.4
グローバルX eドック（遠隔医療&デジタルヘルス）ETF	△16.5	6.5	2.5
アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	9.3	8.9	7.6
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	2.6	8.6	8.4
SMDAM・グローバルEV関連株ファンド	△14.1	8.6	6.6
SMDAM・フード・テクノロジー株式ファンド	0.9	2.5	2.2
Nikkoam グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド	1.0	3.0	2.3
グローバルX eコマースETF	8.9	3.1	7.5
グローバルX ヒーローズ（ゲーム&eスポーツ）ETF	△3.7	5.2	0.8
グローバルX クラウド・コンピューティングETF	10.8	8.2	8.9
グローバルX ソーシャルメディアETF	4.2	1.2	7.1

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配方針に基づき、基準価額の水準を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	2023年7月20日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月19日	2023年10月20日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月19日	2023年12月20日 ～2024年1月19日
当期分配金（税込み）（円）	－	－	－	－	－	－
対基準価額比率（％）	－	－	－	－	－	－
当期の収益（円）	－	－	－	－	－	－
当期の収益以外（円）	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額（円）	958	958	958	958	958	958

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「Society 5.0関連株マザーファンド」の受益証券を通じて、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■Society 5.0関連株マザーファンド

投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本として運用を行います。

- イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し投資対象の投資信託証券とします。
- ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
- ハ. 投資対象の投資信託証券の中から、成長性を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。
- 二. 投資対象の投資信託証券、各コンセプトおよび投資信託証券への投資配分については、適宜見直しを行います。

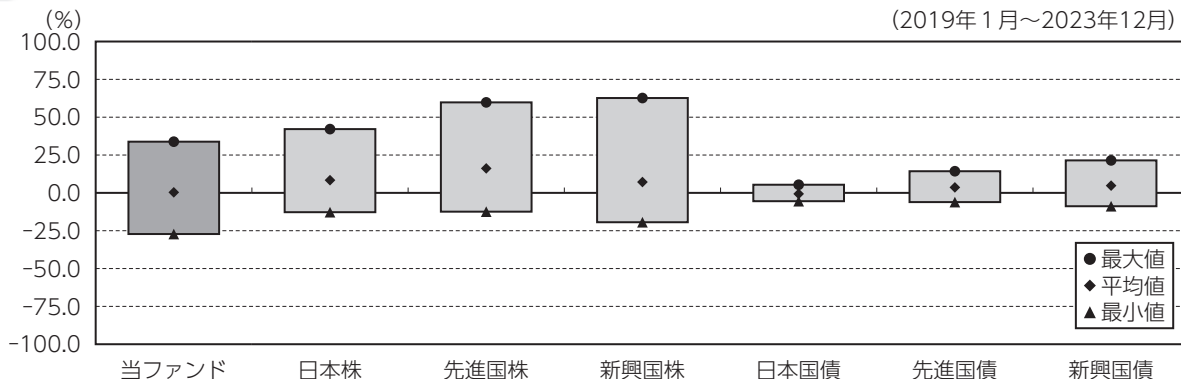


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年7月20日～2025年7月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	Society 5.0関連株マザーファンドの受益証券
	Society 5.0関連株マザーファンド	Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、Society 5.0をテーマに日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。</p> <p>※Society 5.0とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。</p> <p>②投資信託証券の選定および組入比率の決定にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. Society 5.0に合致する投資信託証券を選定し、投資ユニバースとします。</p> <p>ロ. Society 5.0を「支える技術（デジタル基盤技術等）」「健康的な暮らし（医療等）」「便利な暮らし（省力化等）」「豊かな暮らし（消費・サービス等）」の4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。</p> <p>ハ. 投資ユニバースの中から、競争優位性等を考慮して投資信託証券を選定し、各コンセプト内における投資配分を決定します。</p> <p>ニ. 投資ユニバース、各コンセプトへの投資配分、投資を行なう投資信託証券については、適宜見直しを行ないません。</p> <p>③投資信託証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、下記イ. およびロ. に基づき分配します。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配は行ないません。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p> <p>(a) 10,000円以上11,000円未満の場合…100円</p> <p>(b) 11,000円以上12,000円未満の場合…200円</p> <p>(c) 12,000円以上13,000円未満の場合…300円</p> <p>(d) 13,000円以上14,000円未満の場合…400円</p> <p>(e) 14,000円以上の場合 …500円</p> <p>なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。</p>	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.8	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	0.4	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△27.2	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



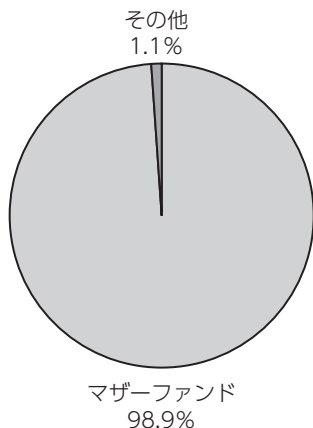
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

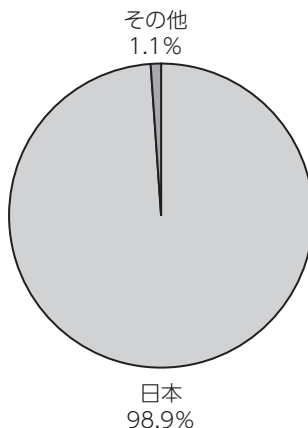
### 組入ファンド等

	比率
Society 5.0関連株マザーファンド	98.9%
その他	1.1

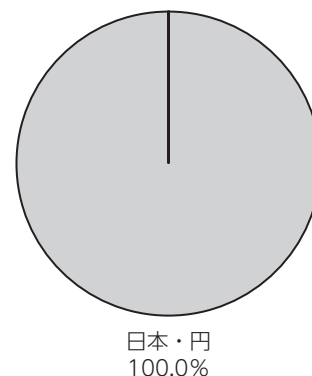
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月19日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末
	2023年8月21日	2023年9月19日	2023年10月19日	2023年11月20日	2023年12月19日	2024年1月19日
純資産総額	25,914,679,715円	26,021,478,334円	24,333,870,116円	24,660,778,210円	24,154,991,109円	23,901,361,227円
受益権総口数	28,571,981,138口	27,764,843,054口	27,057,984,033口	26,186,189,661口	24,833,822,699口	24,048,569,902口
1万口当り基準価額	9,070円	9,372円	8,993円	9,417円	9,727円	9,939円

\* 当作成期間（第37期～第42期）中における追加設定元本額は194,350,302円、同解約元本額は5,708,047,855円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

◆Society 5.0関連株マザーファンド（作成対象期間 2023年7月20日～2024年1月19日）

13～23ページをご参照ください。